



01

企画展関連ワークショップにも参加しなうちや!

リヒターの表現に挑戦!
〜抽象絵画をつくる〜

5月10日(土) 13:30-16:30
定員:15組(WEBより事前申込制)

作品を鑑賞して、「この絵ってどんなふう
に描いているんだらう……」と思ったことは
ありませんか?
そんな疑問にお
答えるワーク
ショップを開催。
アーティストの発
想・手法に触れて
みましょう!



美術館の他にも企画展
が盛りだくさん!
詳しくは企画展
ページに ▶



02 コレクション展もYO-CHECK!?

5部屋あるコレクションギャラリーでは、当館のコレクションを
ジャンルごとに紹介。アートを深めるプログラムとして、休日のギャラ
リートークや関連ワークショップ、小さなお子様との鑑賞をサポート
する「いっしょにみてみて水曜日」なども開催予定です。さらに、アート
と音楽の新しい出会いを試みる新企画「コラボ」では、コレクション
展示から音楽プレイリストをつくって公開します!

※コレクションギャラリー1-2は、6月15日まで企画展会場となります



03 「無料で入館できて、なにができる!」
って本当???

なんと、本当です! 展示室以外のエリアは、1階から3
階まで無料回遊ゾーンなので、眺めもよくゆくりと過
ごせる居場所がたくさんあります。「ひろま」では、ちょっとした創作活
動も用意し、「毎日、なにをやってる美術館」を展開していきます。

04

いろんなところで大活躍! 美術館ボランティア
「TMOA」さんによるプログラムも充実

美術館の運営や学芸業務に関わる活動もTMOAさん
(ティモアさん)と一緒に進めていきます。ときには
はサポーターとして、ときにはプレーヤーとなって
美術館を盛り上げるTMOAさん
の活動から目が離れません!

開館後の定書企画・絵本読み聞かせイベント
「えっは!」はじまるよ〜も、TMOAさんと一緒に開催中。



05

いよいよ「A.L.L.(アートラーニングラボ)」を開校!

「アートを通じた学びの研究室」=「A.L.L.(オール)」を設置
し、対象にあわせた多様なラーニング・プログラムや相談
対応、研修などを実施します。県内の小学4年生を美術館に
招待する「MUSEUM START BUS」は、メ
インプログラムの一つ。充実した鑑賞
時間を過ごせるよう、スタッフも一緒に
に展覧会場をまわってご案内します。



鳥取県立美術館 TEL:0859-24-6442 FAX:0859-24-6443 E-MAIL:info@bml.or.jp 三宅健太郎 三宅健太郎 三宅健太郎

鳥取県立美術館

01

2025. SPRING

創刊特別号

みんなとつくる
鳥取県立美術館の
活動通信

とたより



2025
1/16 (木)
晴れ

「はじまるよ〜」はじまるよ〜も、TMOAさんと一緒に開催中。開館後の定書企画・絵本読み聞かせイベント「えっは!」はじまるよ〜も、TMOAさんと一緒に開催中。

コレクションNAVI

Q 今号の一品
辻哲堂「長い長い行列」
1967年 リンクリン/紙



を感じさせます。当館もアートを楽しむ人々で溢れる美術
館になりたいな、という思いを込めて紹介します。

表紙の一枚

鳥取県立美術館1・2月のできごと
ウォーホル、若冲の作品が
県博から県美へ移転!

開館まであと70日余りの1月16日[木]。
鳥取県立博物館の美術部門から独立して
新規開館する県立美術館へ収蔵作品を
移転(お引越)しました。大勢の報道関係
者が見守るなか、アンディ・ウォーホル
《プリロ・ボックス》など目玉作品を移転!
展覧会で展示される
日まで、大切に保管
します。

収蔵庫前室で開館し、
学芸が作品の状態を
確認し、作品の移転は無事に完了!
再度梱包し、それぞれの収蔵庫へ収められました。



Q&Aでひとく
開館記念展「アート・オブ・ザ・リアル」
美術館開館までのあゆみ&フロア紹介
とたよりPick Up! / コレクションNAVI / 表紙の一枚

2025年3月30日、待ちに待った、

鳥取県立美術館がオープンします!



開館記念展

アート・オブ・ザ・リアル 時代を超える美術

—若冲からウォーホル、リビターへ—

Q どんな展覧会？

A 鳥取ゆかりの作家をはじめ、アートにおける「リアル」をめぐる挑戦の軌跡をたどります

近世の鳥取画家たちの精密な表現、前田寛治の写実、辻智堂の彫刻的リアリズム……。表現における「リアル」に対する関心が垣間見える作品は、当館コレクションの特徴のひとつです。本展では、古くから美術における重要なテーマだった「リアルとは何か」に対する多様な応答を、時代やジャンルのを超えて紹介します。開館記念展にふさわしい、巨匠や名品との出会いをお楽しみに！



辻智堂(俳人(大作家待試))
1942年/木彫/東京国立近代美術館蔵

前田寛治(作家)
1928年/油彩/キヤンヴァス/鳥取県立美術館蔵

近世から現代まで、国内外の広いジャンルの作品を包摂できるテーマを考えました。鳥取藩の藩絵師たちが取り組み、前田寛治が研究し、辻智堂が初期の本展で試みた「リアル」とは、鳥取県立美術館の出発点としてここにふさわしいテーマではないでしょうか。

館長 尾崎信一郎



6つの切り口に合わせ、館長と学芸員6名がそれぞれの専門性を生かして作品を選定。会期中の日曜日は、ギャラリートーク「学芸員のイチ推し」も開催します。どうぞお楽しみに！

学芸員 藤巻和恵



Q 展示のポイントを教えて！

A 「リアルとは何か？」に
6つの切り口で迫る展示構成

開館記念展 アート・オブ・ザ・リアル
時代を超える美術 —若冲からウォーホル、リビターへ—

会期 2025年3月30日(日)～6月15日(日)
※途中展示入替あり ※月曜休館(3/31、4/28、5/5を除く)
会場 鳥取県立美術館企画展示室、コレクションギャラリー1・2
時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
※夜夜開館日(5/3(土)、6/14(土))は21:00まで
料金 一般 1,600円(1,250円) 学生 1,000円(800円)
高校生 500円(400円) 小学生 300円(240円)
※1日以内は前売・20名以上の団体料金

主催 アート・オブ・ザ・リアル実行委員会
特別協力 東京国立近代美術館

江戸/現代、日本/世界の広がりをもつ鳥取県立美術館のコレクション。本展では、若冲をはじめ各時代を代表する名品約180点を一堂に展示します。「リアル」は、古くから美術の重要なテーマ。時代を超える挑戦の軌跡を、ぜひご堪能ください。



イヴ・クライン(人体測定170)
1962年/顔料、カンヴァスに張り付かれた紙/
広島市現代美術館蔵



原井大樹(ゴールドフィンガー)
2007年/
絹紙(27225cm)、箔書き/
東京国立近代美術館蔵



若冲や応挙、ピカソやマサなどの著名な作家の作品もあれば、いま注目される若手や中堅作家の作品も並びます。アートが移り変わっていく姿を直観してほしいです。

美術振興課 三浦秀

Q どんな作品が見られるの？

A 出品作家100名以上、
ジャンル、時代を超えた
約180点の優品が揃います

著名な作家や名品を紹介するのみならず、江戸期から現代、日本と海外の美術の流れを一望できる約180点を紹介します。油彩画、日本画、彫刻、写真、そして現代美術を含む多彩なジャンルの作品で、美術をめぐる価値観の豊かさに触れていただけます。山陰では、かつてない大規模な特別展。「リアル」という視点で一斬新される美術という営みの実行者をお見逃しなく！



伊藤若冲(魚と鯨図屏風) 18世紀/紙本墨画・六曲一双/MIHO MUSEUM蔵(※3/30・4/20展示予定)



三島善美(Box Lemon 80) 1980年/陶彫、転写、彩色/個人蔵



ゲルハルト・リビター(抽象絵画(648-1))
1987年/国立国際美術館蔵
© Gerhard Richter 204 (20072024)

なぜ、いま「リアル」を問うのか？

6つのセクションで構成される本展。写実としてのリアル、絵画において可能なリアル、日常や生活のなかのリアル、社会的現実としてのリアル……と、多様な視点から「リアルとは何か？」に迫ります。

写実や迫真、現実や真実といった言葉と関連づけられて論じられてきた「リアル」の意味をあえて限定せず、その時代、作家や運動によって探求されてきた「リアル」の歴史、アート・オブ・ザ・リアルをたどることによって、鳥取県と世界の美術史をつなぐことがこの展覧会のねらいです。



鳥取県立美術館 館長
おきしん・ちろう
尾崎信一郎